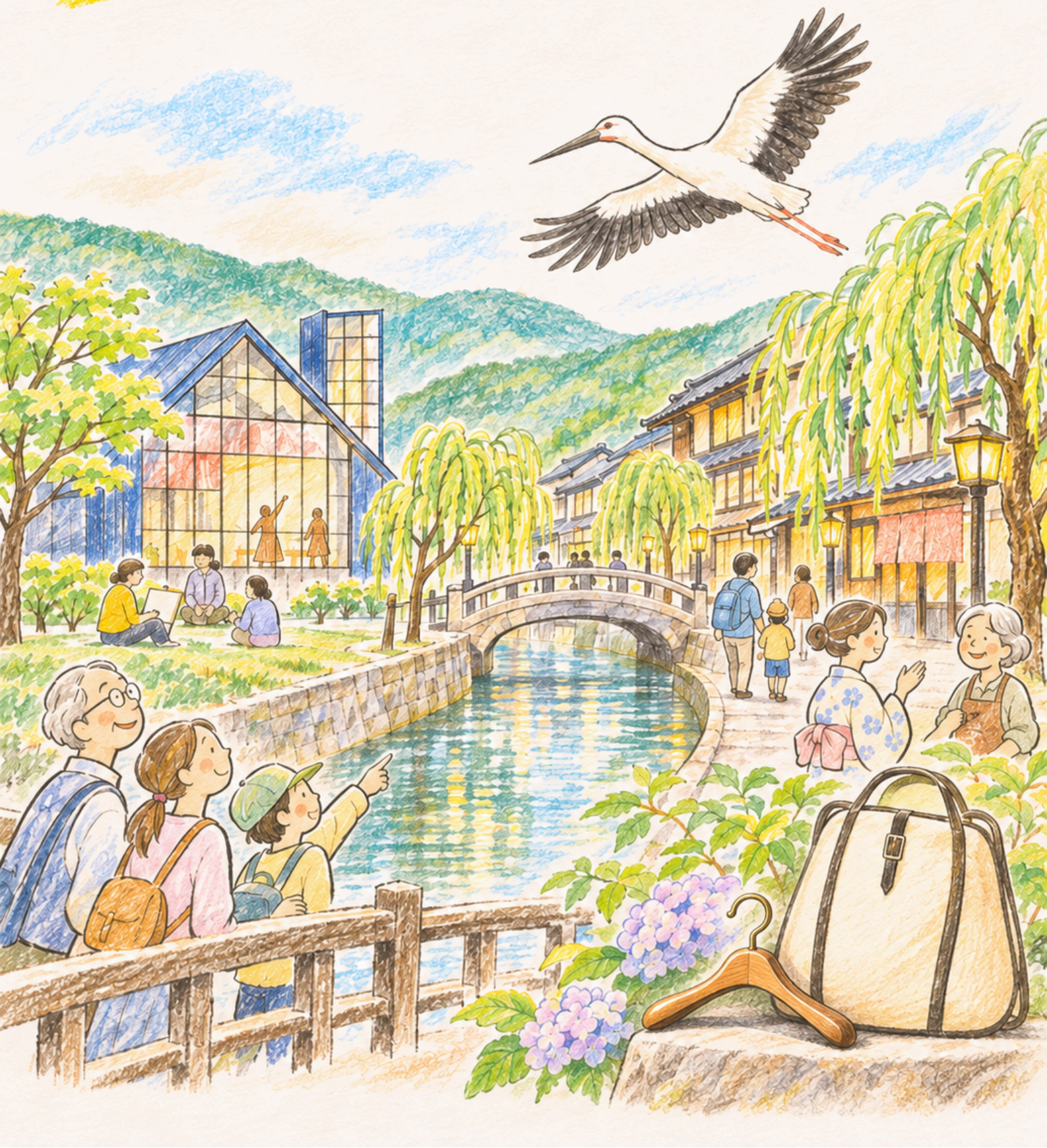
豊岡メソッドツアー



豊岡ツアーDay1.①

城崎国際アートセンター

高木沙羅々さん（CAT1期生）

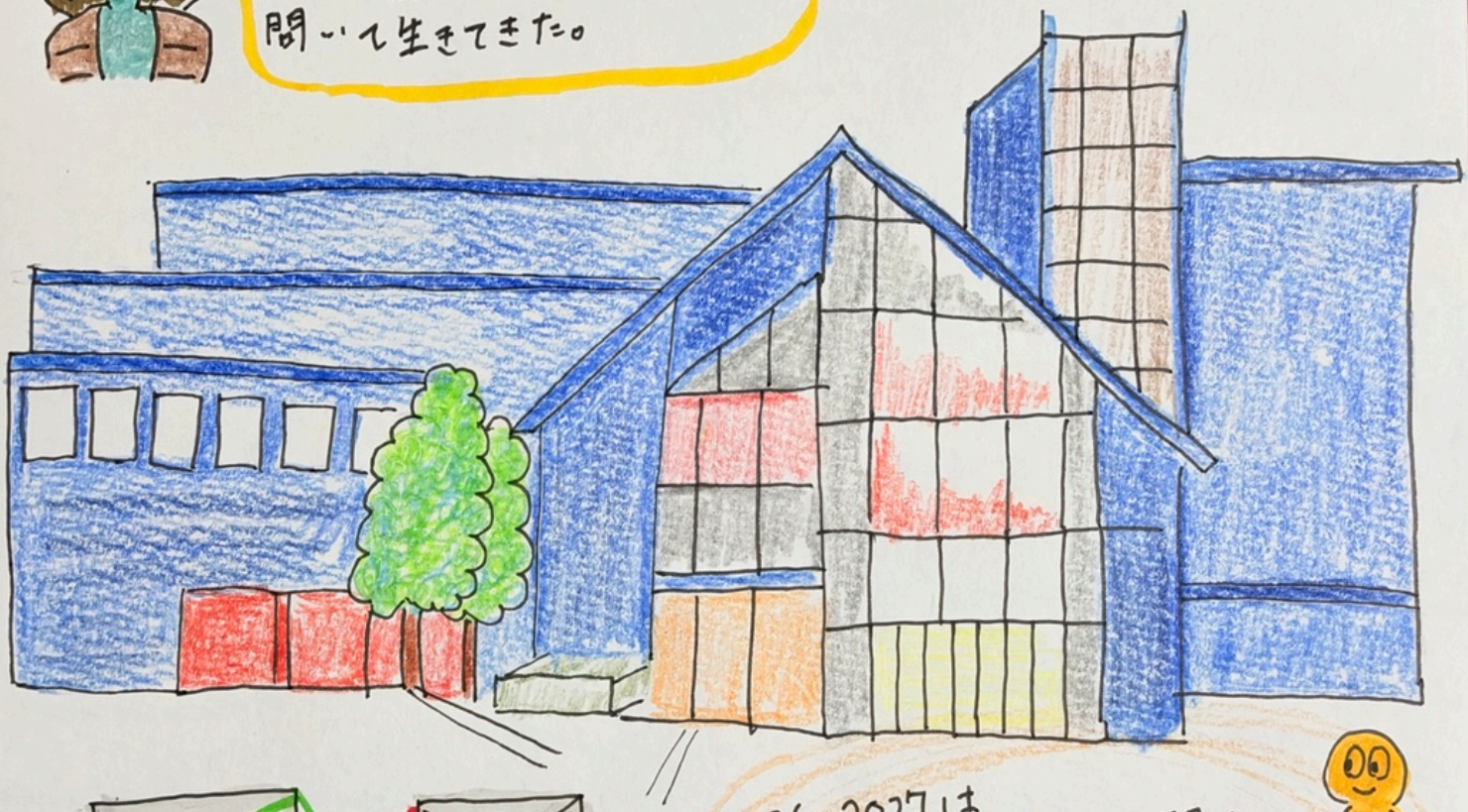


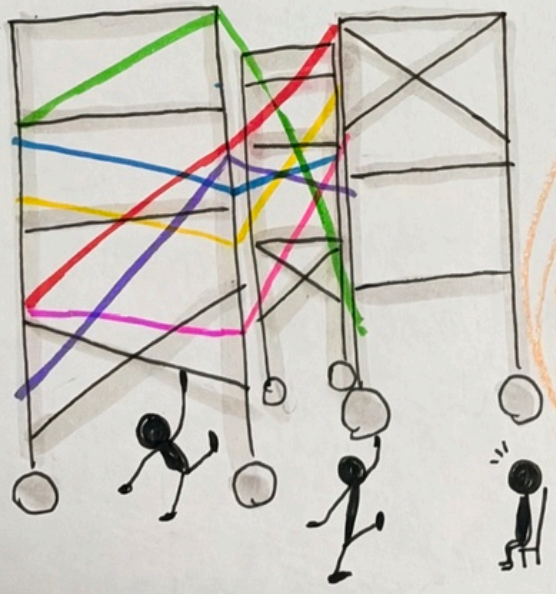
1期生はとにかく戦ってきた。
何をどうすれば伝わるのか。
私は何者か。何をしてるのか。
問いて生きてきた。

どんなところ？

世界中のアーティストが城崎に滞在しながら演劇やダンスなど新しい作品を生み出すための施設

作品が生まれる過程そのものを支援している表現の場





対話が生まれるホール
言葉が育てられる場

2026-2027は
トビラを開く。セカイも開く。
－その人の世界をその人の視点でみる施設－

他の施設では味わえない、
ゆっくり話をして聞いて見て感じられるホール。
生きている人をまじまじと見れる場所

“風俗の観察の場”

豊岡ツアーDay 1.②

城崎の町づくりと観光DX

-城崎温泉のまちづくりとインバウンド-

城崎観光協会 会長 高宮浩えさん





かに王国城崎
国王//

街全体が一軒の旅館！それをみんなでつくる

- ☆ 駅が玄関
- ☆ メインストリートがろうか
- ☆ 旅館が客室（80軒）
- ☆ 土産物屋が売店（30軒）飲食（60軒）
- ☆ 外湯が大浴場（だいよくじょう）

他との違いは？

城崎温泉固有の文化



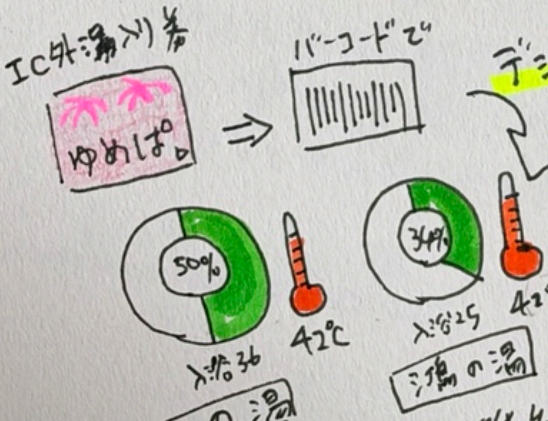
それって何？何で？

言葉だけでなく共存共栄
力をあわせてやっていく
一時の儲けより子どもの世代に残すこと
自分の旅館よりまちの発展

取り組み

ゆかたが似合うまち
ファッションショー！





全て可視可し混雑緩和

安心にまわれる温泉街
↓
女性・子ども増化へ

豊岡ツアー Day 1, ③ ～コウノトリも住めるまちへ～

コウノトリの郷公園

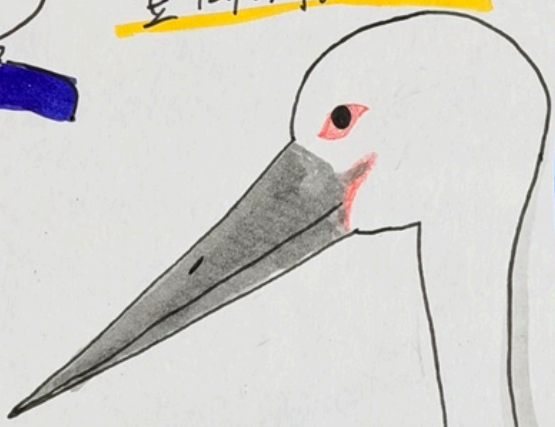
豊岡の野生復帰から地域を変える力を学ぶ!!

豊岡アートアクション理事長　中貝宗治さん

まちや社会は、
自分たちの努力で変えられる

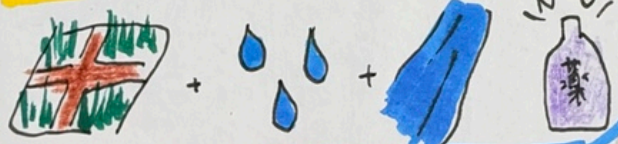


コウノトリと共に生きる
－豊岡の挑戦－



① 生きものの居場所をつくる

田んぼ・水路・川をつなぐ
湿地を再生し、農薬への依存を減らす。



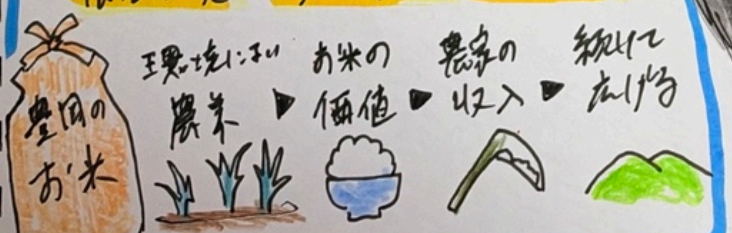
② 対話で未来をひらく

農家さんの歩みと苦労を受けとめる
孫の世代にどんな風景残す？と問う



③ 環境と経済をつなぐ

農法の工夫 ＋ ブランド化 ＋ 販売先



④ 子どもが地域を動かす

学ぶ ▶ 考える ▶ 一歩踏み出す
子どもの提案が
学校給食を変える!!



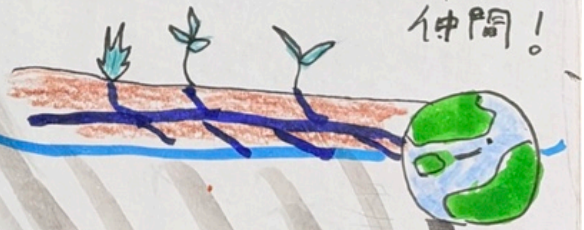
⑤ 事業主体は「私たち」－we－

農家・行政・JA・企業・子ども・食べる人…
みーんな仲間になる!!



⑥ 足元を掘ると、世界へ－

地域への思いが「地下水脈」でつながる。
違う土地でも同じ願いを持つ仲間！



豊岡ツアー Day 1, ④

株式会社 YURI 由利 昇三郎さん



yuri

鞄創造により人生を豊かに。
製造業ば作ったら作っただけでも
創造は創ったら創っただけ豊かに!!

国内生産No.1の
鞄メーカを目指す!!

豊岡工場　大宮工場　ダナン工場

4つのオリジナルブランド

ARTPHERE JAPAN
Atelier nuu
TotemRevoss
RAIZON

7つの品質重視によって…
長く使って頂く事を伝えていく。

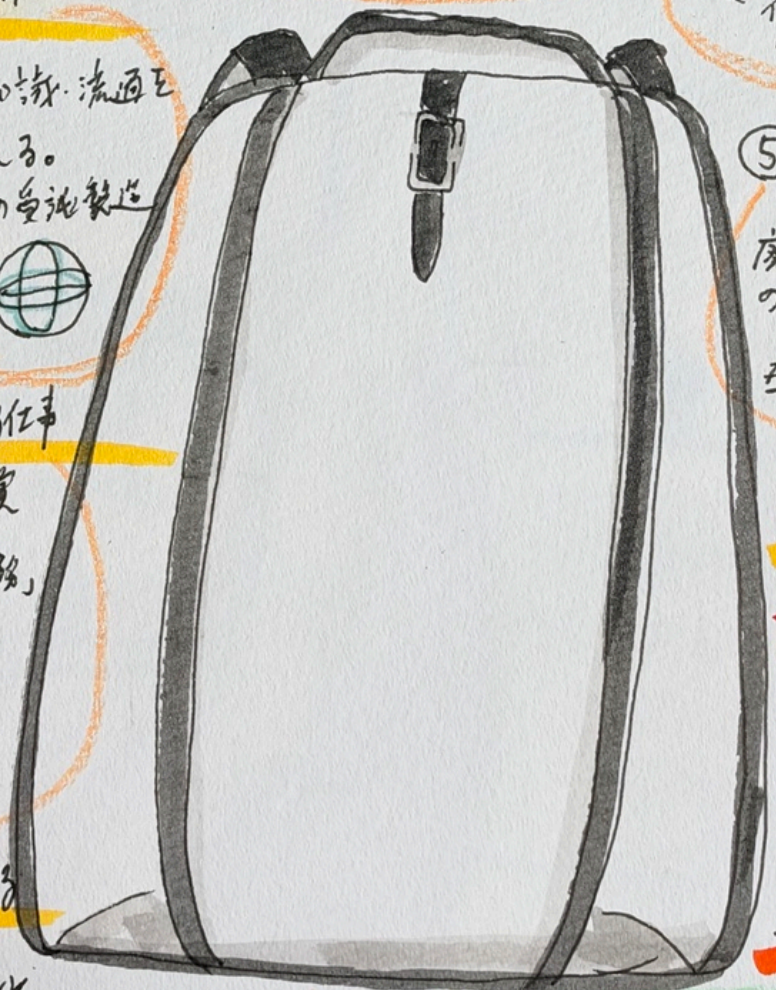
① 豊岡の強みを、世界へ
1964年創業。
地域に蓄積した技能・知識・流通を
鞄づくりの強みとして捉える。
自社ブランド＋他社ブランドの受託製造

② 使う人の暮らしを考える
使いやすい、丈夫、修理できる
長くつかえる安心と持つ喜びを届ける。

③ 修理の気づきが
～次の鞄へ～
修理で気づく → 企画・設計へ返す
使いやすい品質改善

④ 働きやすさ × 成長できる仕事
2021年「あんしんカンパニー」受賞
有休 83%以上　「ラ4勤務」
女性比率 54.3%
管理職

⑤ 資源を大切に
長くつかう
廃漁網由来の再生素材
の活用。一点ものの商品へ

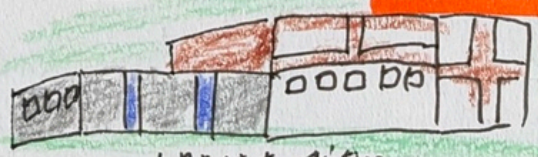


よい鞄をつくる仕組み
と
人が発揮できる職場
を
ともに育てる

⑥ 地域の担い手を育てる
職人を育てる地へ
素材を提供

豊岡で働き技術を受けつぐ入口へ。

2027年6月
New工場



安心だけじゃいい人財はあつまらない
やりたいこと自習練できる場所づくり!!

豊岡ツアー Day 1, ⑤

豊岡市ジェンダーギャップ対策課長
原田紀代美さん

すべての人が生きやすく
働きがいのある街へ



豊岡の未来をつくる ジェンダーギャップ解消

性別にとらわれず、一人ひとりが力を発揮できるまちへ

① 職場
ワークイノベーション

働きやすさ × 働きがい

- 経営者から発信を変える
- 組織変革・育成・昇進の機会を広げる
- 男性育休・柔軟な働き方
- 従業員の声を制度に反映



調査 → 改善 → 取り組みを見える化

② 地域家庭学校
「当たり前」を問い直す。



地域：
女性も若者も意思決定へ

学校：
性別で可能性を狭めない

家庭：
家事・育児を話しあう

若者と描く未来から
今の行動へ

③ 子育て中の女性の就労支援
「働きたい」×「人手不足」



子づれで相談できる場所

プチ副業・時短や短時間から

学びなおし
デジタル人材育成

再就職・起業の道も開く

自分にあう働き方を
えらべる

取り組みで得られた変化

- ☑ 女性管理職増加
- ☑ 男性の育休が広がる
- ☑ 地域の意思決定に女性が参加
- ☑ 再就職・起業への一歩

これからの暮らしに合わせて、仕組みを更新する!!

豊岡ツアー Day2, ①

豊岡市のジェンダーギャップ解消をどう進めたか

豊岡市こども未来部長 若森洋崇さん



1970年 豊岡生まれ

東京就職も迷ったが地元へ

↓

ふるさとをよくする仕事がしたいと決断

中途半端な対度より"やりたいことを主張してやりきる"



仕事の流儀

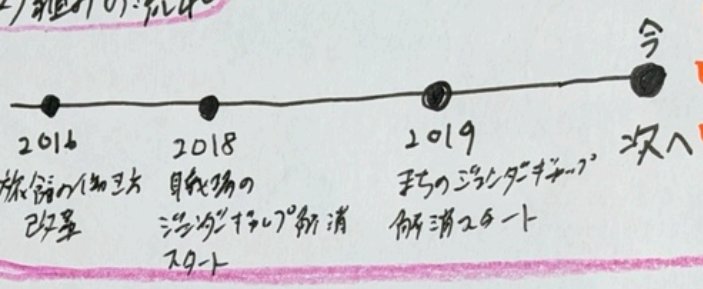
① 自分で機会をつくる

② スベラの市はチャンス

③ 新しいこと × 新しい手法

▷2015年 ソリューションフォーカス

取り組みの流れ



- ✔ 最初は職場から
- ✔ 次にまち全体へ
- ✔ 小さな成功を重ね拡大

土台：戦略的政策評価

『小さな世界都市』

⇩

戦略目的

⇩

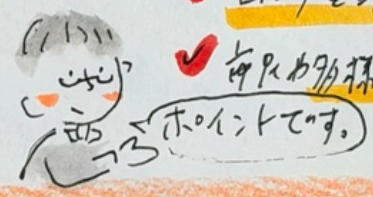
主要手段

⇩

具体策

- ローカルの価値を磨き世界へ
- 目指す姿から逆算して政策を考える
- 部分最適ではなく全体最適へ

- ✔ 目的を明確にすることを重要視
- ✔ 市民や多様な関係者と一緒につくる



キーワード

フェアか？

本質か？

信頼。

やったこと

A 旅館の働き方改革
人手不足の原因は"働き方"

B 企業への働きかけ
女性が働きやすい職場へ

C 仲間づくり
行政だけでなく民間と連携

D 保育就労支援
保育士確保、潜在女性の就労支援

うまくすすめる工夫

① 自分の言葉で伝える

② 対話を避けない

③ 良いアドバイザーと進める

④ ワークショップで自分ごと化

⑤ 誇りをつくる

⑥ 一気に変えようとしない

三歩進んで二歩下がっても OK



戦略を描き、対話し、少なくても小さな成功を重ねる。

豊岡ツアーDay2.②

Beyond Hangers, Beyond Borders

中田工芸株式会社 社長

中田修平さん



1946年創業

～ハンガーに夢をかけて～

～洋服と幸福をかける～

失われた30年の日本。

中田工芸も失われた17年があった。

変化せねば

世界一のハンガーブランドになる!!

戦略を転換「非価格経営」

※安さを売りにしない経営のこと

ブランディング!!

ハンガーで喜びを創造する

Nakata Hangerの立ちあげ

2007年東京ショールームオープン

洋服と幸福をかける

ハンガーを展開

ライフステージのハレの日に

ハンガーを贈ろう

ストーリー戦略

品質

機能

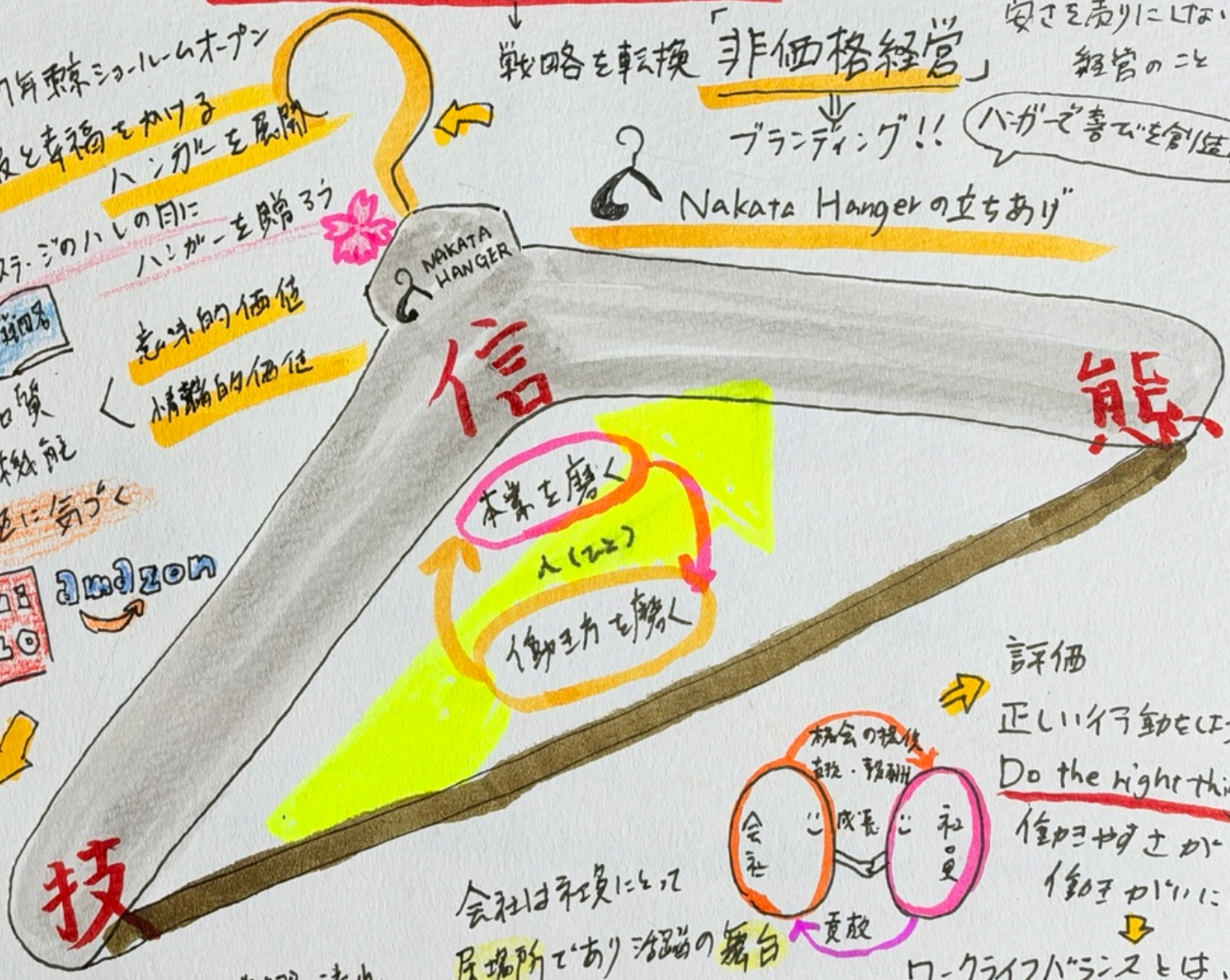
意味的価値

情緒的価値

価値に気づく

UNIQLO

amazon



評価

正しい行動をしよう

Do the right thing!

働きやすさが働きがいに。

ワークライフバランスとは、

いいしごとをする為に

自分自身がした選択人生を楽しむため

人を大切にしながら

世界一のハンガーブランドを

目指していきます!



会社は社員にとって

居場所であり活躍の舞台

会社は機会を提供する



人を大切にする

海外進出と女性活躍の流れ

2024 ロンドン



チャールズ皇太子からオーダー

ハンガーがつなぐ

縁が広がる

2019年

経営方針に

「ジェンダーギャップ解消」

Day 2 Last

小さな世界都市 豊岡

中貝宗治さん

出発点
若者が出ていき戻らない
若い世代、夫婦ペア減り出生数も減る。

若者、とくに女性に選ばれるまちへ

目指す姿
小さくても世界から尊重される
Local & Global

まちを動かす4つのエンジン

① 自然との共生
コウノトリも住めるまち。

② 文化を受け継ぐ
守り育て引き継ぐ。城崎温泉歴史まなび。

③ 深さを持った演劇のまち
観る・創る・暮らしに生かす。

④ ジェンダーギャップ解消
性別だけで者をあきらめない公正さを担保に。

演劇の力は劇場の外へ

創造の拠点
出石永楽館 / 城崎国際アートセンター / 芸術文化観光専門職大学 / 演劇祭

観光：滞在と交流

教育：聴く・対話する力

ケア：相手の世界を想像する

まちの未来の仮説
異質な表現にふれる → 寛容さ → 多様な人があつまる → 対話・協働 → 新しい価値

多様性を生かすには対話の力が必要

木も森も見る。
一人ひとりの暮らし ↔ まち全体の未来
学生と市民の対話がまちの空気を変える

それぞれの普通を認めあう
このこのふつう

次の挑戦は
日本海文化国土軸
日本海沿いのアート拠点をつなぎ文化芸術のネットワークをつくる。

人口は減ってもまちは元気になれる。
「小さな世界都市豊岡」その先に
人が惹かれ、また帰ってきたくなる地域の未来がある！